

I 法規

【4肢択一式問題】

問1. 駐停車に関する次のア～エの記述のうち、正しいものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄に「○」印をしなさい。

ア. 5分以内に戻ってくる人を運転席で待っているのは停車になる。

イ. 道路工事区域の側端から5メートル以内の場所に駐車することは禁止されている。

ウ. 交差点の側端から5メートル以内のところで、荷物を受け取るために停車した。

エ. 火災報知器から1メートル以内の部分は駐停車禁止の場所となっている。

1. 一つ
2. 二つ
3. 三つ
4. 四つ

問2. 一時停止に関する次のア～エの記述のうち、正しいものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄に○をつけなさい。

ア. 車両が歩道や路側帯を横断するとき、歩行者がいない場合は、歩道等に入る直前に一時停止を行う必要はない。

イ. 車で歩行者のいる安全地帯のそばを通るときには、一時停止しなければならない。

ウ. 交差点内を走行中に緊急自動車が接近してきたので、交差点を避けて、道路の左側へ寄り、一時停止した。

エ. 踏切に信号機があるときには、一時停止や安全確認はしなくてもよい。

1. 一つ
2. 二つ
3. 三つ
4. 四つ

問3. 徐行に関する次のア～エの記述のうち、正しいものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄に○をつけなさい。

ア. 歩道と車道の区別のない道路を通行する場合その他の場合において、歩行者の側方通過時に安全な間隔がとれないときは徐行して進行する。

イ. 安全地帯の側方を通過するとき、その安全地帯に歩行者がいなくても徐行して進行する。

ウ. 停止中の通園バスのそばを通るときには、徐行して安全を確認する。

エ. 上り坂の頂上附近を通行するときは徐行しなければならない。

1. 一つ
2. 二つ
3. 三つ
4. 四つ

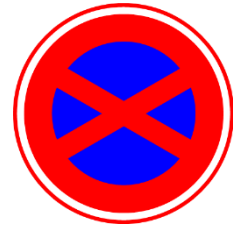
問4. 道路交通法に定める交差点等における通行方法について、次のア～エの記述のうち、正しいものはいくつあるか。解答用紙の該当する番号の欄に○を付けなさい。

- ア. 左折又は右折しようとする車両が、法令の規定により、それぞれ道路の左側端、中央又は右側端に寄ろうとして手又は方向指示器による合図をした場合においては、その後方にある車両は、いかなる場合であっても当該合図をした車両の進路の変更を妨げてはならない。
- イ. 車両等は、交差点に入ろうとし、及び交差点内を通行するときは、当該交差点の状況に応じ、交差道路を通行する車両等、反対方向から進行してきて右折する車両等及び当該交差点又はその直近で道路を横断する歩行者に特に注意し、かつ、できる限り安全な速度と方法で進行しなければならない。
- ウ. 車両等は、横断歩道に接近する場合には、当該横断歩道を通過する際に当該横断歩道によりその進路の前方を横断しようとする歩行者がないことが明らかな場合を除き、当該横断歩道の直前で停止することができるような速度で進行しなければならない。
- エ. 車両等（優先道路を通行している車両等を除く。）は、交通整理の行なわれていない交差点に入ろうとする場合において、交差道路が優先道路であるとき、又はその通行している道路の幅員よりも交差道路の幅員が明らかに広いものであるときは、その前方に出る前に必ず一時停止しなければならない。

- 1. 一つ
- 2. 二つ
- 3. 三つ
- 4. 四つ

【○×正誤式問題】

問 5. この標識のある場所は、駐車のみ禁止されている。



問 6. この図は一方通行の入り口を示している。



問 7. この標識のある場所では、車は停止線の直前で一時停止しなければならない。



問 8. この標識の場所では、歩行者も通行することができない。



問 9. 右の標識は追い越し禁止を表している。



問 10. この標識がある道路では、大型貨物自動車のみ通行できない。



問 1 1. 乗務前点呼において報告・確認の義務がある事項は、酒気帯びの有無と車両点検の実施についてである。

問 1 2. 交通事故を起こしたとき、相手が負傷していなければ警察官に報告する必要はない。

問 1 3. 前車が右左折のために進路変更の合図を出したときは、急ブレーキや急ハンドルで回避しなければならないような場合を除いて、前車の進路の変更を妨げてはならない

問 1 4. 右または左へ車線変更をするときは、その行為をしようとする地点から 30メートル手前の地点から合図を開始する。

問 1 5. 二つの車両通行帯が設けられている道路を通行する場合は、車両はどちらの車両通行帯を通行してもよい。

問 1 6. 右折しようとして交差点に入ったが、前方の対向車線より左折車が来たので、左折車が左折してから右折した。

問 1 7. 信号機が赤色の点滅信号を表示している場合は、車両は他の交通に注意して進行する。

問 1 8. 交差点において「左折可」の標示板のあるときは、前方の信号が赤であっても、他の交通に注意しながら左折することができる。

問 1 9. 運転免許は第一種運転免許・第二種運転免許・仮運転免許の 3 つに分類される。

問 2 0. 車両（軽車両を除く。）の運転者は、当該車両について政令で定める積載重量等の制限を超えて乗車をさせ、又は積載をして車両を運転してはならない。ただし、出発地警察署長による許可を受けてもっぱら貨物を運搬する構造の自動車（以下「貨物自動車」という。）の荷台に乗車をさせる場合にあっては、当該制限を超える乗車をさせて運転することができる。

問 2 1. 標識等で警音器の使用が定められている場所以外では、危険を避けるためのやむを得ない場合を除いて、警音器を使用してはならない。

問 2 2. 停留所において乗客の乗降のため停車している路線バスが発進合図を出しているとき、その後方にある車両は、その速度または方向を急に変更しなければならないこととなる場合を除き、路線バスの進路の変更を妨げてはならない。

問 2 3. 横断歩道とその手前 3 0 メートル以内の場所は追い越し禁止である。

問 2 4. 高速自動車国道等で自動車を運転しようとするときは、あらかじめ、燃料、冷却水若しくは原動機のオイルの量又は貨物の積載の状態を点検し、オイル量の不足等のために当該自動車を運転できなくなることや、積載物の転落、飛散させることを防止するための措置を講じなければならない。

問 2 5. 道路交通法においては、車両総重量 8 トン、最大積載量 5 トンの自動車は大型自動車に該当する。

問 2 6. 車両等は、踏切を通過しようとするときは、信号機の表示する信号に従う場合でも必ず踏切の直前で一時停止しなければならない。

問 2 7. 原動機付自転車を追い越そうとしている前車を追越すと「二重追越し」となり違反である。

問 2 8. 呼気 1 リットルにつき 0.15 ミリグラム以上の酒気帯び運転は処罰の対象となるが、それに達しない場合であっても、酒気を帯びて運転してはならない

問 2 9. 勾配がゆるやかであっても、下り坂を通行するときには徐行しなければならない。

問 3 0. 車両は、一方通行路を通行するときでも、道路の中央から左の部分を通行しなければならない。

問 3 1. 夜間に対向車とすれ違う場合において、他の車両等の交通を妨げるおそれがあるときは、前照灯を減光するか下向きに切り換える。

問 3 2. 同一方向に進行しながら進路を変えるときなど合図に係る行為をしないのにもかかわらず、合図を出した場合は違反行為となる

問 3 3. 一時停止の道路標識や道路標示のある交差点では、停止線の直前（停止線のない場合は交差点の直前）で一時停止するとともに、交差道路を通行する車両等の進行妨害をしてはならない

問 3 4. 自動車の運転者は、運転中は座席ベルトの装着が義務づけられているため、いかなる場合においても座席ベルトを装着しないで自動車を運転する行為は違反となる。

問 3 5. 右折するときは、あらかじめその前からできる限り道路の中央に寄り、かつ、交差点の中心の直近の内側を速やかに進行しなければならない。（R 1 東ト協）

問 3 6. 右左折しようとするときは、その行為をしようとする時の 3 秒前のときに合図しなければならない。

問 3 7. 車両等を離れるときは、5 分以内程度のわずかな時間であればその原動機を止めることを要しないが、完全にブレーキをかける等当該車両等が停止の状態を保つため必要な措置を講じなければならない。

問 3 8. 道路交通法における徐行の定義は、車両等が時速 2 0 k m 以下で走行することである。

問 3 9. 道路交通法第 6 6 条の「過労運転等の禁止」に違反すると違反点数は 2 5 点である。

問 4 0. 交差点を右左折するときは、横断歩行者等がいなくても徐行して進行する。

Ⅱ 機能構造（20問）

【4肢択一式問題】

問41. 道路運送車両の保安基準に関する次のア～エの記述のうち、正しいものはいくつあるか。解答用紙の該当する番号の欄に○を付けなさい。

- ア. 自動車の高さは、告示で定める方法により測定した場合において、3.7メートルを超えてはならない。
- イ. 自動車の長さ（セミトレーラにあつては、連結装置中心から当該セミトレーラの後端までの水平距離）は、10メートル（セミトレーラのうち告示で定めるものは13メートル）を超えてはならない。
- ウ. セミトレーラ以外の自動車で、最遠軸距が5.5メートル未満の自動車の車両総重量は、25トンを超えてはならない。
- エ. 隣り合う車軸にかかる荷重の和は、その軸距が1.8メートル以上である場合にあっては20トンを超えてはならない。

- 1. 一つ
- 2. 二つ
- 3. 三つ
- 4. 四つ

問 4 2. 事業用貨物自動車の日常点検について、次のア～エのうち、毎回点検することが義務づけられているものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

ア. ブレーキ・ペダルの踏みしろが適当で、ブレーキの効きが十分であること。

イ. タイヤに異状な摩耗がないこと。

ウ. エンジン・オイルの量が適当であること。

エ. エア・タンクに凝水がないこと。

1. 一つ
2. 二つ
3. 三つ
4. 四つ

問 4 3. 灯火類の灯光の色に関する次の記述のうち、誤っているものを 1 つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

1. 後退灯の灯光の色は、白色であること。
2. 非常点滅表示灯の灯光の色は、赤色であること。
3. 尾灯の灯光の色は、赤色であること。
4. 番号灯の灯光の色は、白色であること

問 4 4. 警音器に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄に「○」印をしなさい。

1. 自動車（被牽引車を除く。）には、警音器を備えなければならない。
2. 自動車（緊急自動車を除く。）には、歩行者の通行その他の交通の危険を防止するため自動車が右左折、進路の変更若しくは後退するときにその旨を歩行者等に警報するブザーなど法令で規定する装置を除いて、車外に音を発する装置であつて警音器と紛らわしいものを備えてはならない。
3. 警音器の警報音発生装置は、運転者が運転者席において、その音の大きさ又は音色を容易に変化させることができるものであること。
4. 警音器の警報音発生装置の音は、自動的に断続するものでないこと。

【○×正誤式問題】

- 問 4 5. 道路運送車両法で規定する「自動車の種別」には、「大型自動車」という区分はない。
- 問 4 6. タイヤ交換をしたときは、初期なじみのためタイヤ交換後 3 0 0 キロメートルを目安にナットの増し締めを実施するとよい。
- 問 4 7. 自動車は、告示で定める方法により測定した場合において、車体の幅が 2. 8 メートルを超えてはならない。
- 問 4 8. ホイール・ボルトやホイール・ナットの締め付け方法には、球面座で締め付ける J I S 方式と平面座で締め付ける I S O 方式があり、既定の締め付けトルクで確実に締め付ける。
- 問 4 9. 貨物の運送の用に供する普通自動車で、車両総重量が 5 トン以上のものには、運行記録計を備え付けなければならない
- 問 5 0. タイヤの亀裂や損傷の有無の点検は、走行距離や運行時の状態から判断した適切な時期に行えばよい。
- 問 5 1. 貨物の運送の用に供する普通自動車であって、車両総重量が 7 トン以上または最大積載量が 4 トン以上（最高速度が 9 0 キロメートル毎時以下の自動車等を除く）のものは、速度抑制装置を備えなければならない。
- 問 5 2. 道路運送車両法における「道路運送車両」とは、自動車、原動機付自転車、自転車である
- 問 5 3. 自動車の高さは、3.8 メートルを超えてはならない
- 問 5 4. すべての非常点滅表示灯は、同時に作動する構造であること。
- 問 5 5. 衝突被害軽減ブレーキや車線逸脱警報装置などの先進技術を利用してドライバーの安全を支援するシステムを搭載した自動車は「A S V」と呼ばれている。
- 問 5 6. 日常点検の結果に基づいて運行の可否を決定するのは、運行管理者である。

問 5 7 . 自動車運送事業の用に供する自動車の定期点検は、毎年、3 月と 1 2 月の 2 回実施すればよい。

問 5 8 . 2 0 2 3 年 1 月より運用が開始された電子車検証では、券面に「有効期間の満了する日」は記載されなくなった。

問 5 9 . 自動車の最小回転半径は、最外側のわだちについて 12 メートル以下でなければならない。

問 6 0 . タイヤの溝の深さの点検は、毎回の運行前に義務づけられている。

Ⅲ 運転常識

【4肢択一式問題】

問61. 夜間の運転に関する次のア～エの記述のうち、誤っているものはいくつあるか。
解答用紙の該当する欄に○を付けなさい。

- ア. 夜間は速度感が鈍り、速度超過になりがちである。
- イ. 走行中に、自車のライトと対向車のライトで、道路の中央付近の歩行者が見えなくなることがある。
- ウ. 対向車のライトがまぶしいときは、視点をやや右前方に移して目がくらまないようにする。
- エ. 視線は出来るだけ手前のほうへ向け、少しでも早く前方の障害物を発見する。

- 1. 一つ
- 2. 二つ
- 3. 三つ
- 4. 四つ

問 6 2. 踏切の通行に関する次のア～エの記述のうち、誤っているものはいくつあるか。
解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア. 踏切内では、変速しないで、発進したときの低速ギアのまま一気に通過する。
- イ. 踏切内では、対向車との接触を防ぐために、できるだけ左寄りを通行する。
- ウ. 踏切を通過しようとするときは、その直前（停止線があるときは、その直前）で一時停止をし、窓を開けるなどして自分の目と耳で左右の安全を確かめる。
- エ. 前の車に続いて通過するときは、一時停止はしなくてもよいが、安全確認は行わなければならない

- 1. 一つ
- 2. 二つ
- 3. 三つ
- 4. 無し

問 6 3. 運転時の危険な現象に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい

1. 「フェード現象」とは、フットブレーキを使い過ぎると、ブレーキ・ドラムやブレーキ・ライニングが過熱して摩擦力が減少し、ブレーキの効が悪くなる現象をいう。
2. 「スタンディングウェーブ現象」とは、タイヤの空気圧が低い状態で高速走行をすると、タイヤに波状の変形が生じる現象をいう。
3. 「ベーパーロック現象」とは、高速走行時に急ブレーキをかけるとタイヤがロックする現象をいう。
4. 「ハイドロプレーニング現象」とは、路面が水で覆われているときに高速で走行すると、タイヤが水上スキーのように水膜の上を滑走し、ハンドルもブレーキもきかなくなる現象をいう。

問 6 4. 車が衝突したときの衝撃力に関する次のア～ウの記述のうち、正しいものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

ア. 速度が3倍になれば、衝撃力は6倍になる。

イ. 重量が重いほど衝撃力は大きくなる。

ウ. 衝撃の作用が短時間に行われるほど衝撃力は小さくなる。

1. 一つ
2. 二つ
3. 三つ
4. 無し

【○×正誤式問題】

- 問 6 5. 遠心力の大きさは、カーブの半径が小さいほど大きくなり、速度の 2 乗に比例して大きくなる
- 問 6 6. 発進するときは、ウinker等で発信の合図をしたあと、速やかに発進しなければならない。
- 問 6 7. 後輪が右に滑ったときは、ハンドルを左に切って、車の向きを立て直す。
- 問 6 8. 夜間走行中、自分の車と対向車のライトで、道路の中央付近の歩行者が見えなくなること蒸発現象という。
- 問 6 9. 四輪車を運転中、エンジンの回転数が上がった後、故障等により下がらなくなったときは、ギアをニュートラルにして車輪にエンジンの力をかけないようにしながら路肩などの安全な場所に行き、停止した後にエンジンスイッチを切る。。
- 問 7 0. 長い時間、高速道路を走行すると速度感が鈍って、スピードが落ちてくる傾向があるので注意する。
- 問 7 1. 雨の降り始めの舗装道路はスリッパにくい。
- 問 7 2. 空走距離とは、ブレーキが効き始めてから車が停止するまでの距離のことを指す。
- 問 7 3. 車庫と営業所が離れていて対面点呼を受けられないときは、電話その他の方法で点呼を受けることができる。
- 問 7 4. 内輪差とは車が曲がるときに前輪が後輪より内側を通ることによる前後輪の軌跡の差をいう。
- 問 7 5. 事業用貨物の高齢運転者には適齢診断（高齢運転者のための適性診断として国土交通大臣が認定したものをいう。）を 65 才に達した日以後 1 年以内（65 才以上の者を新たに運転者として選任した場合は、選任の日から 1 年以内）に 1 回受診させ、その後 2 年以内ごとに 1 回受診させる。

問 76. 休息期間とは、使用者の拘束を受けない時間をいい、休憩時間や仮眠時間は含まれない

問 77. 片側が転落のおそれのあるがけになっている道路で、安全な行き違いができないときは、がけと反対側の車が一時停止をして道をゆずる。

問 78. 運転時間は2日（始業時間から起算して48時間）を平均し、1日あたり9時間、2週間を平均し1週間あたり45時間を超えないものとする。

問 79. 一般的に車両全長が長い大型車が右左折する場合、ハンドルを一気にいっぱい切ることにより、その間における車体後部のオーバーハング部分（最後部の車軸中心から車体の後面までの水平距離）の対向車線等へのはみ出し量が少なくなり、対向車などに接触する事故を防ぐことが出来る。

問 80. 事業用自動車の運転者が酒気を帯びた状態にあるときは、その旨を事業者に出し出なければならぬが、呼気中のアルコール濃度が0.15mg/ℓ以下であれば、少量のアルコールが検知されても道路交通法の酒気帯び運転とならないので申し出る必要はない。